



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 北日本紡績株式会社 上場取引所 大
 コード番号 3409 URL http://www.ktbo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 直山 秀人
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大杉 幸正 (TEL) 076-277-7530
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	374	△6.8	△21	—	△25	—	△23	—
24年3月期第3四半期	401	13.9	△5	—	△11	—	△3	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △52百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △35百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△1.93	—
24年3月期第3四半期	△0.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,963	1,060	54.0
24年3月期	2,074	1,113	53.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,060百万円 24年3月期 1,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	520	△0.7	△25	—	△31	—	△28	—	△2.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	12,911,000株	24年3月期	12,911,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	556,793株	24年3月期	556,288株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	12,354,460株	24年3月期3Q	12,355,502株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種の政策効果や震災復興需要により、個人消費が緩やかに持ち直しつつありましたが、欧州景気の低迷・中国経済成長の減速・米国景気回復の鈍化・尖閣諸島問題に発した日中関係悪化などにより、2009年リーマンショック以来の景気判断「悪化」と内外環境が冷え込んでおります。

しかしながら、昨年末の衆議院選挙で民主党政権から自民党新政権に交代し、新体制による新たな経済政策への期待の高まりから、円安・株高と変化の兆しを感じられますが、依然として世界経済の先行きや国内産業の空洞化、設備投資・雇用の抑制に加え、電力供給制約によるコストアップ、社会保障制度と税制改革消費税増税など不透明要因が多く、消費マインドの急速な回復は望めない状況にあります。

繊維景況は、夏物衣料品販売が増加した反面、ダウンジャケットやアウトドアなど軽量高密度繊維は在庫調整が進展せず、また、ワーキングウェアの需要一巡によりユニフォーム用の製品在庫調整には数か月かかる見通しとなっております。

当社の産業資材分野では、主力商品であるアラミド繊維（高機能難燃繊維）・高強度繊維ともに自動車関連資材向けが回復基調でしたが、補助金終了に加え日中関係悪化から急速に需要が減少、また、産業用資材向けの落ち込みが大きくアラミド繊維全体の売上高は前年同四半期に比べ15,578千円減少し178,373千円となりました。

一方、一般衣料紡績系ではユニフォーム用が在庫調整に入り、インテリア用についても減少となり、色物紡績設備の稼働率も低下となったことから、売上高は前年同四半期に比べ11,890千円減少し195,973千円となりました。

このような状況の中、当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、各素材全体の受注減少が響き、売上高は前年同四半期に比べ27,468千円減少し374,347千円となりました。営業損失は21,297千円（前年同四半期は5,526千円の営業損失）、経常損失は25,700千円（前年同四半期は11,233千円の経常損失）、四半期純損失は23,836千円（前年同四半期は3,550千円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ110,873千円(△5.3%)減少し、1,963,951千円となりました。この減少の主な要因は、現金及び預金が42,448千円、受取手形及び売掛金が17,422千円、減価償却費の計上等により有形固定資産が22,402千円、保有株式の時価が下落したことにより投資有価証券が29,158千円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ57,861千円(△6.0%)減少し、903,752千円となりました。この減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が10,663千円、約定返済等により短期借入金が17,236千円、長期借入金が11,660千円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ53,011千円(△4.8%)減少し、1,060,198千円となりました。この減少の主な要因は、保有株式の時価が下落したことによりその他有価証券評価差額金が29,158千円、四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が23,836千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、継続的に営業損失を計上し、当第3四半期連結累計期間においても21,297千円の営業損失を計上しております。こうした状況から当社グループには、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、高付加価値糸へのシフト化に取り組むとともに、高機能繊維の開発に注力し、業績回復に努めております。しかしながら、これらの対策は実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	108,552	66,103
受取手形及び売掛金	49,377	31,954
製品	5,013	3,556
仕掛品	6,691	5,930
原材料及び貯蔵品	5,362	1,374
その他	1,019	8,814
流動資産合計	176,017	117,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	629,125	625,522
機械装置及び運搬具(純額)	101,448	82,707
土地	858,464	858,464
リース資産(純額)	859	582
その他(純額)	1,345	1,562
有形固定資産合計	1,591,243	1,568,841
無形固定資産		
リース資産	960	652
ソフトウェア	738	446
施設利用権	807	807
無形固定資産合計	2,507	1,905
投資その他の資産		
投資有価証券	293,578	264,419
その他	11,479	11,050
投資その他の資産合計	305,057	275,469
固定資産合計	1,898,808	1,846,216
資産合計	2,074,825	1,963,951

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,473	9,810
短期借入金	571,916	554,680
リース債務	819	819
未払法人税等	1,299	765
賞与引当金	3,648	1,931
その他	40,317	26,274
流動負債合計	638,474	594,281
固定負債		
長期借入金	11,660	—
リース債務	1,092	477
繰延税金負債	43,339	41,093
再評価に係る繰延税金負債	251,294	251,294
退職給付引当金	5,315	5,665
役員退職慰労引当金	10,439	10,439
その他	—	500
固定負債合計	323,140	309,471
負債合計	961,614	903,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,000	714,000
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	15,002	△8,833
自己株式	△57,336	△57,352
株主資本合計	672,923	649,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,537	△36,696
土地再評価差額金	447,824	447,824
その他の包括利益累計額合計	440,286	411,127
純資産合計	1,113,210	1,060,198
負債純資産合計	2,074,825	1,963,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	401,815	374,347
売上原価	320,189	309,374
売上総利益	81,626	64,972
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	8,926	8,619
役員報酬	11,364	13,118
給料及び手当	30,829	28,304
賞与引当金繰入額	510	453
その他	35,522	35,774
販売費及び一般管理費合計	87,153	86,270
営業損失(△)	△5,526	△21,297
営業外収益		
受取利息	24	18
受取配当金	4,322	4,831
不動産賃貸料	2,460	5,483
助成金収入	408	—
その他	3,258	2,241
営業外収益合計	10,474	12,575
営業外費用		
支払利息	13,804	12,908
支払補償費	—	1,336
その他	2,376	2,732
営業外費用合計	16,180	16,977
経常損失(△)	△11,233	△25,700
税金等調整前四半期純損失(△)	△11,233	△25,700
法人税、住民税及び事業税	381	381
法人税等調整額	△8,064	△2,245
法人税等合計	△7,682	△1,864
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,550	△23,836
四半期純損失(△)	△3,550	△23,836

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,550	△23,836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67,405	△29,158
土地再評価差額金	35,899	—
その他の包括利益合計	△31,505	△29,158
四半期包括利益	△35,055	△52,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△35,055	△52,995
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、継続的に営業損失を計上し、当第3四半期連結累計期間においても21,297千円の営業損失を計上しております。こうした状況から当社グループには、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、高付加価値系へのシフト化に取り組むとともに、高機能繊維の開発に注力し、業績回復に努めております。しかしながら、これらの対策は実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(4) セグメント情報等

当社及び連結子会社の事業は、紡績糸の生産・販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。